

「人とのかかわり」「生活習慣・運動」も毎日の生活の中で育まれます

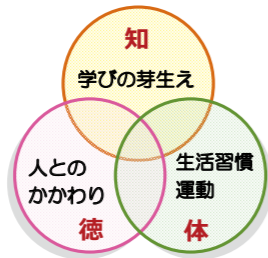
人とのかかわり

日々の温かい関わりが大切です

お子さんと見つめ合うこと、触れること、言葉を掛けながら世話をすること、やりとりを楽しむこと…。毎日の何気ない関わりが愛着や信頼を育みます。



愛着や信頼は、お子さんの他者と関わる力の基盤になります。



生活習慣・運動

よい生活習慣は、一生の宝物です

早起きをして朝ごはんを食べること、昼間はたっぷり動いて遊び、夜はぐっすり眠ること、自分のことを自分でできるようにすること…。

毎日の積み重ねが、生涯にわたる生活や運動の習慣につながります。



※子供の発達の様子は「就学前教育カリキュラム」に掲載されています。 <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr110414sy-2.htm>

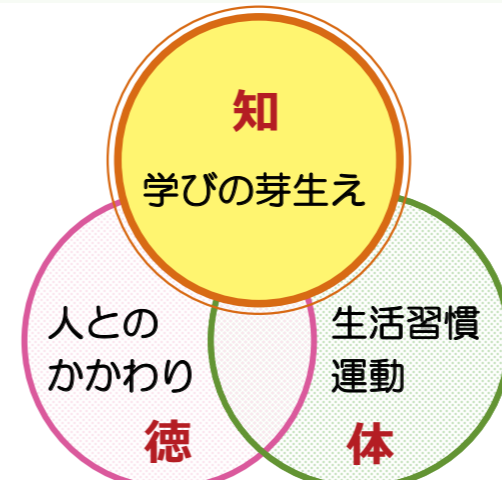
小さなお子さんを育てていらっしゃる保護者のみなさんへ

# 毎日の生活を通して、 お子さんの学び

を大切にしましょう



<乳幼児期に育てたい「知・徳・体」>



生涯にわたる心と体の基礎は乳幼児期に育ちます。乳幼児期からお子さんの「知・徳・体」をバランスよく育てていくことが大切です。

本リーフレットでは、その中から「知」にあたる「学び」について、子供の発達や家庭で大切にしたいことをご紹介します。

乳幼児の「学び」とはどのようなことでしょうか

乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト ～乳幼児期に心と体の基礎を育てるために～



医学や脳科学等の研究により分かってきた、

- 乳幼児期に大切なこと
- ご家庭でのお子さんへの具体的な関わり方

などが掲載された様々な資料があります。

<http://www.nyuyoji-kyoiku-tokyo.jp>



東京都は、子供たちに教え伝えていくべき社会の基本的な「心の東京ルール～7つの呼びかけ～」を提案します

- 毎日きちんとあいさつさせよう
- 他人の子供でも叱ろう



- 子供に手伝いをさせよう
- ねだる子供にがまんをさせよう
- 先人や目上の人を敬う心を育てよう



- 体験の中で子供をきたえよう
- 子供にその日のことを話させよう



就学前教育カリキュラム家庭用リーフレット 平成24年12月  
東京都教育委員会印刷物登録 平成24年度 第143号  
編集・発行 東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課

※ 本リーフレットは「就学前教育カリキュラム」(平成23年3月発行)を基に作成しています

東京都教育委員会

「繰り返し」「夢中になって」「工夫して」遊ぶことで、意欲や好奇心、探究心などが育ちます

お子さんのこのような行動は、「学んでいる」姿です。(子供の発達には個人差があります。)

- 周囲の物を触ろうとしたり、口に持っていったりする。
- 何かしてほしいときに、周りの関心を引こうとして発語する。
- 戸外に出ることを喜ぶ。

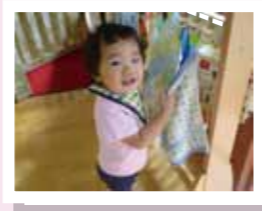


- 身近な草花や小動物、自然現象に興味をもって関わる。
- 親しみをもって身近な大人の話の聞いたり、困ったことやしてほしいことを言葉で伝えたりする。
- 身近な素材や用具を使って、好きなように描いたり作ったりする。

- 安定して歩けるようになり、行動範囲や興味が広がり、探索活動が盛んになる。
- ものの名前を覚え、片言が盛んになる。
- 大人のしぐさや口調などを、何でもまねようとする。

- 身の回りの物の色、形などに興味をもち、集める、分ける、組み合わせるなどしながら遊ぶ。
- 大人や友達と会話を楽しむ。
- 絵本等の中の人や身近な動物などになりきって遊ぶ。

- 積み木や簡単なブロックなどを組み合わせて、何かに見立てて遊ぶ。
- 「これは?」「何?」と何度も聞いたり、好きなこと(遊び、歌、絵本など)を繰り返ししようとする。
- 大人のつもりになって人形やぬいぐるみを抱っこするなど、ままごと遊びを楽しむ。



- 身近にある様々な出来事に関心をもち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする。
- 必要なことが相手に分かるように、話し方や言葉を考えて伝えようとする。
- 様々な素材や用具を使い、友達と一緒に工夫して描いたり作ったりすることを楽しむ。



幼稚園や保育所等では、友達との生活や遊びを通して、協力すること等を学びます。

様々なことに関心をもち、  
進んで生活や学習に取り組む

お子さんの姿(例)

お子さんが興味をもったことを一緒に楽しみながら、小さな体験の積み重ねを大切に、自立に向けてお子さんを支援しましょう

### 「やってみたい」を大切に

自分で動いて、物に触って・・・体験することが、興味・関心や好奇心などにつながっていきます。また、大人が「楽しいね。」「びっくりしたね。」などと共感することが、更にお子さんの「やってみたい」を引き出します。

### うまくいかない体験、やり遂げた喜びを大切に

やってみたいと思っても、うまくいかないことがあります。聞く、調べる、工夫する、挑戦するなど、自分で乗り越えていく体験をすることがとても大切です。励ましたり見守ったりしながら、その過程を十分に認めることが、お子さんの様々な考えを生み出す力や、粘り強く取り組む力を育みます。



### 人との関わりや体験の広がりを大切に

戸外に出掛けることは、日差しや風を感じたり、身近な草花や小動物に触れたりするなど、お子さんが様々な感覚を通して学ぶ機会になります。また、公園や子育てひろばなどで遊ぶことは、人との関わり方を学ぶ機会になります。

### 園と家庭の体験のつながりを大切に

お子さんが幼稚園や保育所等で体験したこと、楽しんでいること、頑張っていることなどを、ご家庭でも取り入れてみましょう。園と家庭での体験がつながることで、さらに豊かな学びにつながります。

家庭で大切にしたいこと